

# 明 — みょう —

真宗大谷派 本明寺通信

# No.18

2010年10月1日発行



御遠忌テーマ 今、いのちがあなたを生きている



今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを  
求めて

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

## 宗祖親鸞聖人 七百五十回御遠忌

「御遠忌（ごえんき）」とは、五十年ごとにお勤めされる宗祖の回忌法要のことです。そして、いよいよ来年三月より「宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌」が厳修されます。

さて、親鸞聖人の九十年の生涯を見てみますと、苦悩と真向かいになり、真実を求めた人ではないかと思えます。この「苦悩」とは、私たちの生活の中で欲求が叶わないことによる「苦悩」ではありません。私たちが生きている中の「根本的苦悩」であります。「根本的苦悩」とは、いかなることをしてもこの身から離れることのできない

苦悩です。

二五〇〇年前に釋尊は「生老病死」いうこの身から離れることのできない苦悩に気付き、出家し仏教を頭にされました。この「生老病死」の苦悩は、釋尊の個人的苦悩ではなく、過去、現在、未来の「いのちの歴史」を生きるすべてのものの苦悩なのです。ですから、もちろん私自身の苦悩であります。

私たちが生きる現代社会において、この「生老病死」という苦悩は見えづらくなっています。医療の進歩、専門的職業の充実により「老」「病」「死」がどこか私と離れたところにあるように錯覚し、生きているのではないのでしょうか。また、自殺者年間三万人以上という「生」を引き受けられない時代

です。

親鸞聖人はこの身から離れることのできない苦悩を、修行して無理やりに離そうとするのではなく、苦悩と真向かいになり、「煩惱具足の凡夫よ」という阿弥陀仏の呼びかけに応え、本願念仏の教えに生きられました。親鸞聖人はこの本願念仏の教えこそが真実の教えであるとし、浄土の真宗を九十年の生涯をかけて頭にされたのです。ですから、私たちにとって親鸞聖人は、単なる一宗派の「開祖」としての親鸞聖人ではなく、苦悩と真向かいになり、真実を求められ、現代社会を生きる人たちに生きる指針を与えてくださる「宗祖」としての親鸞聖人なのです。

親鸞聖人が歩まれた本願念仏

の教えに出遇うということは、「根本的苦悩」が「根本的願い」に転ずるということです。「生」は「生」のままに、「老」は「老」のままに、「病」は「病」のままに、「死」は「死」のままに、つまり苦悩を苦悩のままに、その苦悩が「私は私のままに生きたい」という願いに転ずるのです。

三月から御遠忌の法要が厳修されますが、この法要が御遠忌なのではありません。私自身が根本的苦悩と真向かいになり、親鸞聖人が頭かにされた本願念仏の教えに出遇い、根本的願いに目覚め歩むことが宗祖の御遠忌を勤めることなのではないでしょうか。ですから、御遠忌とは今の歩み、そしてこれからの生涯をかけた歩みが御遠忌なのです。

## 真宗本廟（京都・東本願寺） 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

基本理念	宗祖としての親鸞聖人に遇う
基本方針	本願念仏に生きる人の誕生・真宗仏事の回復
テーマ	今、いのちがあなたを生きている

### 第1期法要

2011年3月19日（土）～3月28日（月）

### 御遠忌讃仰（ごえんきさんごう）

2011年3月29日（火）～4月18日（月）

### 第2期法要

2011年4月19日（火）～4月28日（木）

### 御遠忌讃仰

2011年4月29日（金）～5月18日（水）

### 第3期法要

2011年5月19日（木）～5月28日（土）

### 御正当報恩講（ごしょうとうほうおんこう）

2011年11月21日（月）～11月28日（月）



◆児連  
ハイティーンのついで

今年で四回目となる「High Teenのついで」が、八月二十三日、二十四日に江東区夢の島にある「BunB (ブンブ) 東京スポーツ文化館」にて行われ、高校生、大学生、大人、二日目からの参加者を含め、総勢十七人が参加しました。

今回も例年に引き続きテーマは「つながり」。講師はサマーキャンプで「お茶おじさん」として活

躍されてました、織田繁氏にお話をいただきました。

織田氏は歌手の鬼束ちひろさんの『月光』という曲を冒頭に流し、その歌詞の

I am God's child. (私は神の子)

この腐敗した世界に墮とされた

How do I live on such a field?

(こんなところでどうやって生きていけばいいの?)

こんなもののために生まれたんじゃない

という一節から、「生まれる」ということはどういうことかを、色々な世界の、また色々な時代の詩や劇の台詞を紹介しながら話された。

その後の語らいの時間には、参加者それぞれの経験や思いを語り合い、とても大切な時間を過ごしました。

二日目は第五福竜丸を見学し、バーベキューを行いました。猛暑日の中ではありましたが、木陰と海風のおかげで、幾分か心地よく過ごせました。

(東京教区児童教化連盟

『児連だより』掲載記事より)

その他の歩み



◆七月二十六日(月) <

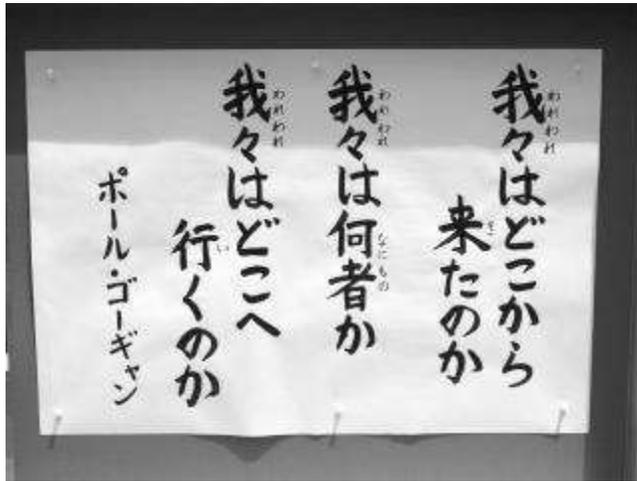
二十八日(水)

児連サマーキャンプ

◆九月六日(月)

お寺の子ども会サポートプラン

などなど



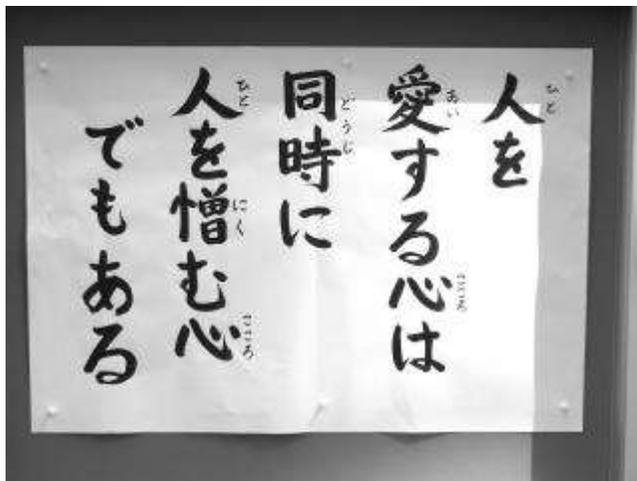
七月

# お寺の掲示板

七月  
八月  
九月



八月



九月



# 本明寺の予定

## 本明寺

### 宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 お待ち受け大会 兼 本明寺報恩講

期日：2010年10月31日（日）

#### 日程

12:00 法話（本田隆見 本明寺住職）

13:00 お待ち受け法要

14:00 落語（古今亭 菊千代師匠）

15:00 お齋

いよいよ、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の法要が来年3月より真宗本廟（京都・東本願寺）にて厳修いたします。その御遠忌に向けて、様々なところで親鸞聖人にちなんだ行事やイベントが行われています。

本明寺におきましても親鸞聖人の御遠忌を来年に控えまして、お待ち受け大会を開催いたします。50年に一度のこの勝縁に聖人を偲びつつ、そのみ教えを聞きひらいていきたいと思っております。

#### ◆東京一組御遠忌団体参拝

二〇一一年四月二十五日（月）

～二十七日（水）

#### コース

東本願寺（御遠忌法要）～郡上  
八幡～白川郷・明善寺～高山別  
院

費用 七万八千円

本明寺定員 十二名

（全体定員一四〇名）

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を真宗本廟（京都・東本願寺）において厳修します。五十年に一度のこの勝縁に聖人を偲びつつ、そのみ教えを聞きひらいていきたいと思っております。



◆おみがき奉仕のつどい

十月二十四日(日) 十三時から  
一緒に仏具をきれいにしながらお話をしませんか。

◆本明寺聞法会

期日

二〇一〇年十一月二十八日(日)

十二月未定 (土)

※東京一組門徒会聞法会に参加

十四時～十七時

二〇一一年 一月 三十日(日)

二月二十七日(日)

三月二十七日(日)

四月二十四日(日)

時間：十四時～十六時

お話し：本田彰一(本明寺副住職)

テーマ：親鸞聖人に人生を学ぶ

(親鸞聖人のご生涯を通して教えを学びます)

参加費：500円

◆湾岸親鸞講座(市民講座)

テーマ：親鸞の詩―『正像末和讃』に学ぶ―  
日程：隔月一回 土曜日

① 二〇一〇年 八月二十一日

② 十月二十三日

③ 十二月二十五日

④ 二〇一一年 二月 十九日

⑤ 四月 十六日

⑥ 六月 十八日

講師：木越康氏(大谷大学准教授)

受講料：1,000円

会場：江東区産業会館

東京都江東区東陽四・五・十八

東京メトロ東西線「東陽町駅」4番出口横

※副住職がスタッフとして参加しています。

※お申し込み・お問合せは、お気軽に本明寺まで  
ご連絡ください。

### ◆ 私たちの真宗 ◆

- 一、本尊 阿弥陀如来
- 二、宗祖 親鸞聖人
- 三、宗旨 浄土真宗
- 四、宗派 真宗大谷派
- 五、本山 真宗本廟（京都・東本願寺）
- 六、経典 浄土三部経 仏説無量寿経  
仏説観無量寿経  
仏説阿弥陀経
- 七、教え 本願を信じ、念仏もうさば仏になる
- 八、称名 南無阿弥陀仏
- 九、勤行 正信偈・念仏・和讃・回向・御文  
礼拝の生活  
《朝夕に勤行をいたしましょう》
- 十、宗風 正信の生活  
《迷信に惑わされないうで歩みましょう》  
聞法の生活  
《仏法を聴聞し、生まれた意義と  
生きる喜びをみつけましょう》

### あとがき

▼今年の夏は記録的な猛暑が続きましたが、皆さんは体調を崩したりしませんでしたでしょうか。私は猛暑のおかげさまで、おいしいビールをたくさん飲むことができました。  
(^o^)

★ご意見・ご感想・ご質問などをお待ちしています。

★バックナンバーをご希望の方はご連絡ください。すぐにお送りいたします。

発行 真宗大谷派 本明寺  
副住職 本田 彰一（釋 彰一）  
〒130-0012 東京都墨田区太平二・七・一  
TEL 03-3623-1536  
FAX 03-3623-1538  
E-mail honmyouji@mx1.ttcn.ne.jp  
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/honmyouji/>